



大木町のヒト・モノ・コトを住民目線で伝える「まっちライター」。今回は3期生が町の春を見つけられました。

☎企画財政課 ☎0944-32-1036

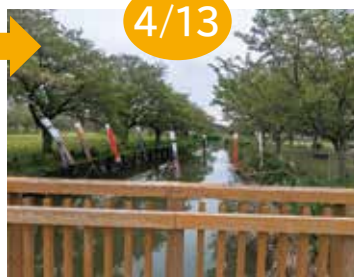
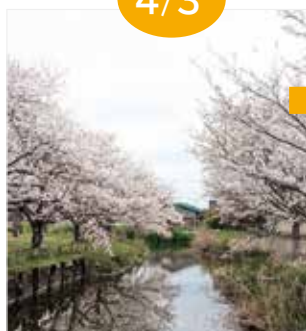
まっちライターレポート



3月末に石丸山公園散歩していたら、枝先だけ桜が咲いている木を見つけました。気づかずに通り過ぎてしまいそうでした。「冬が終わって春になったんだなあ」と実感しました。

それから10日後に再び散歩へ行くと、桜が満開でした。先日、枝先だけ咲いていたあの桜は、満開を通り越して葉桜になっていました。あっという間でした。

更に10日後に散歩に行ったら、たくさんのこいのぼりが飾られていました。よく見たら、子どもたちが製作したこいのぼりが泳いでいました。園の名前やお子さんの名前が書かれています。桜の季節からこいのぼりへ変化する様子を見て、季節の移ろいを感じたひと月でした。(石川)



皆さんは『かがりあげ』をご存じでしょうか？

『かがりあげ』は、いちご生産者が今シーズンの収穫をやめた後、知人にいちごハウスを開放し、いちご狩りを行うことです。大木町の特産品「あまおう」も集荷の終わりの時期を迎えました。JA 福岡大城では最終出荷日が5月20日まで、延長して最長で5月31日まで出荷できます。収穫、出荷を続けることもできますが、次のシーズンに向けた苗づくりの準備を始める時期でもあります。この時期になると、いちごが収穫できたとしても、もったいないと思いながらハウス内の片付けを進めなければなりません。せっかく育ったいちごを最後まで楽しんでほしいという気持ちはあるものの、ビニールハウス内は灼熱地獄。本当はいちごを食べて欲しいとは思いつつも、ハウス内は暑すぎて、配る分のいちごの収穫に手が回りません。

そのため、出荷をやめて数日はハウスを開放して、『かがりあげ』を行い、日頃お世話になっている人たちにいちごを配るのです。もし、いちご生産者に知り合いがいたら、「かがりあげしていますか？」と聞いてみてはいかがでしょうか。もしかしたら『かがりあげ』の時期を教えてください、シーズン最後の『あまおう』を楽しめるかもしれません。

(宮川)

